

私が広島街並みを見て最初に思ったことは、豊かな町であるということです。交通網が整っていて、大きな建物もあり、人もたくさんいて、「これが都会か」と思いました。しかし、華やかな街の中にある原爆ドームには、広島が被爆都市であることを思い出させるような光景が広がっていて、78年前の姿のほんの一部を映し出していました。

原爆ドームを見るだけでは、原子爆弾の物凄い威力の全貌を感じることはできないと思います。資料館で原爆投下の前後を比較した写真や被爆して亡くなられた方の遺品を見たり、実際に被爆された方からのお話を聞いたりしているうちに、だんだんと広島に原爆が投下されたという事実を理解していった気がしました。今まで、その出来事を知ってはいましたが、現実で起きた実際の出来事として理解できていませんでした。どうしても、歴史の教科書に載っているような大きな出来事が、本当にこの世界で起きたことであると思えなかったのです。きっと、私のように、この悲惨な出来事を知ってはいるけれど、本当の出来事であると感じられない人は少なからずいると思います。それは、原爆の規模が大き過ぎて、参考にできる身近なものがないからだだと思います。原爆は計り知れません。

しかし、被爆者の方から実体験としてお話を聞いたことで、当時の状況を少しだけ、味わえたような気がしました。そして、他の誰かの言葉より、被爆者の方が話すその言葉は、より深く心に刻まれました。

今の広島は、核兵器廃絶や世界恒久平和へ向けた運動を行っています。この運動の根底には、原爆に対する強い思いがあると思います。現在、広島では、平和学習という授業があり、子どもたちから原爆について詳しく学習します。そのため、日本の中でも原爆のことを深く理解していて、平和を願う気持ちがとても強い都市です。そして、平和のための取り組みを、当たり前に行っているようでした。子供の頃から平和の大切さを教わることで、世界恒久平和への意識が高まるのでしょうか。平和学習で得られるこの考えが、広島だけでなく世界中へと広がっていけば、いつか世界恒久平和が実現し、殺し合いで誰かの人生が奪われることがなくなるのではないかと思います。犯してしまった過ちを繰り返さないためにも、私は世界全体が平和の大切さを理解し実現することを願い、命を大事にしていこうと思います。